

# 会 議 録

## 1 会議名

第11回柿崎区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 協議事項（公開）

- ・地域の皆さんと地域協議会委員との懇談会の進め方について

### (2) 報告事項（公開）

- ・市からの報告
  - ・地域活動支援事業（防災まちあるき防災マップ作製事業）の内容協議結果について

### (3) その他（公開）

- ・第12回柿崎区地域協議会の開催について

## 3 開催日時

平成31年2月19日（火）午後6時から6時49分まで

## 4 開催場所

柿崎地区公民館 3階 集会室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く） 氏名（敬称略）

- ・ 委 員：小出優子（会長）、金子正一（副会長）、薄波清美、太田健一、片桐充、加藤満、白井一夫、高野武夫、武田正教、新部直彦、榆井隆子、引間孝史、湯本清隆、吉井一寛、渡邊征雄
- ・ 事 務 局：柿崎区総合事務所 滝澤良文所長、佐藤誠司次長、風巻雅人総務・地域振興グループ長、山田幸江産業グループ長、柳澤一幸建設グループ長、島岡聡市民生活・福祉グループ長、平野真教育・文化

グループ長、唐澤幸代地域振興班長、長井英紀主任（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【佐藤次長】

- ・会議（地域協議会）の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明

### 【小出会長】

- ・会長挨拶
- ・会議録署名委員に加藤満委員を指名

### 【小出会長】

協議事項（1）、地域の皆さんと地域協議会委員との懇談会の進め方について金子副会長から説明をお願いします。

### 【金子副会長】

- ・「資料No. 1」により説明

### 【太田委員】

3月17日、3月24日と、この頃は春の総会に当たっている集落がほとんどだ。今回も参加者が少ない状況が考えられる。

私も17日が町内の総会のため懇談会の司会をどなたかにお願いしたい。

### 【金子副会長】

町内会の総会と重なってしまった場合はしょうがないと思う。

17日は、司会を湯本委員にお願いしたいが、よろしいか。

【湯本委員】

はい。

【金子副会長】

では、湯本委員に司会をお願いする。

代わりの記録作成は榆井委員にお願いしたいが、よろしいか。

【榆井委員】

はい。

【金子副会長】

では、榆井委員に記録作成をお願いする。

【高野委員】

私も10日のこの時間は都合がつかない。

【金子副会長】

太田委員、10日は都合いかがか。

【太田委員】

10日は都合良い。

【金子副会長】

それでは、10日の川西地区の記録作成は太田委員をお願いする。

以上の旨、協力をお願いする。

それから、資料とアンケートに関しては当日会場に来られた地域の皆さんに配付したいと思うがよろしいか。

## 【委員】

・「はい」の声

## 【小出会長】

(2) の報告事項に入る。

市からの報告で、地域活動支援事業（防災まちあるき防災マップ作製事業）の内容協議結果について、事務局から報告を願う。

## 【長井主任】

上越市防災士会柿崎支部が実施している地域活動支援事業について、柿崎区総合事務所の防災担当と上越市防災士会柿崎支部、市危機管理課と再度調整した結果、当初採択された事業内容どおり、A2サイズの防災マップを作製し、全戸配付することになった。

このことから、市に申請があった「変更承認申請書」は取り下げとなった。

以上で報告を終わる。

## 【小出会長】

今日は大変速やかに進行しているが、今までの中で質問や意見、あるいは話題提供でも良いが何かないか。

## 【金子副会長】

今日の資料で事務局にお聞きするが、柿崎区の主な路線バスの収支状況の中で、「3の年度ごとの利用者数と市補助金の推移」があるが、右肩の米印で「浜線は、H28年10月に、柿崎～マルケーバスセンター間の路線を柿崎～鶉の浜に短縮したため、H29から利用者が減少した」とあるが、これは柿崎～犀潟間が柿崎～鶉の浜間に変ったのではないのか。

## 【唐澤班長】

もともと直江津まで繋がっていたバス路線が鶉の浜までとなったものである。

**【金子副会長】**

直江津のバスセンターであれば、分かった。

**【唐澤班長】**

今、金子副会長から質問のあった「マルケーバスセンター間」の表現が分かりにくいということであれば、修正させていただくのがいかがか。

**【小出会長】**

皆さん、いかがか。

例えば「直江津まで」という表現などか。

**【唐澤班長】**

はい。直江津まで延びていた路線であったことが分かる表現に修正させていただきたいと思う。

**【小出会長】**

よろしく願います。

ほかにいかがか。

**【渡邊委員】**

昨年2月の地域協議会で、私から自主的審議事項で提案した事項は採択ではなかった。あれから1年、どのような経緯で時間が経過してしまったのか、あるいは提案内容に関する新たな方向があるのか教えてほしい。

**【小出会長】**

道の駅を造ろうという提案についての件か。

**【金子副会長】**

あのときは、自主的審議事項として取り上げることにはならなかったのではないか。

### 【渡邊委員】

自主的審議事項に取り上げる方向での話ではなかったが、中身を検討するということだったと思う。

私の提案は人を増やす、あるいは経済を潤す、地場産業の活性化、そういう部分を含んだ内容でもある。当時、総合事務所長からは、ここで採択し、すぐに自主的審議事項として上越市長に提案する内容としてはなじまないと言う話があった。

まちを活性化するグループもあるわけだし、地域協議会としてそれをサポートする方向で進んでいってもらえないかと思った。

確かに良い内容であるとの意見も委員からいただいたが、立ち消えになってしまった。地域協議会で出た話はきちんと処理をし、方向性を出してほしい。

### 【小出会長】

実は私が出した内容も継続審議の形で保留になっていることがある。やはり自分から動いて周りを巻き込んでいかないと駄目だと思って反省している。

渡邊委員も思いを持って提案していただいたことだが、そのときは採択にはならなかった。やはり渡邊委員の方から動いて、活路を見出し報告していただければと思う。

### 【渡邊委員】

その辺、私から地域の活性化に取り組める団体、商工会とかまちづくり振興会、などに働きかけるにしても、地域協議会委員の私一人でスタンドプレイはできない。だから、地域協議会から、採択するかしないか、自主的審議事項として出すか出さないかという結論までは出さなくても、ほかの団体に声かけできるような下地を作り、働きかけできる方向を出してもらえればという気がした。

一市民として、一人でやってくださいというわけにはいかないと思う。

### 【金子副会長】

確かに夢のある壮大な計画なのだが、私らにはどこからどういうふうに動き出せばいいのか分からない状況だった。

委員の中にも良いと思うとの意見もあったが、どういうふうに進めれば良いのか分からない状況だった。

#### 【渡邊委員】

私の希望としては、何人かでこの問題を煮詰める場を設けていただければと思う。

#### 【武田委員】

渡邊委員の提案は私も覚えているが、壮大過ぎて、道の駅を造るのにお金はどこから出すのか、誰が出店するのかという具体的な内容は何もなく、ただやりたいということであった気がする。

直ぐ近くにも道の駅がある。妙高にも大きい道の駅がある。

柿崎でそれがほしいという市民の声がたくさん上がってくれば、地域協議会としてどうすれば良いかなど方向性を検討するのは良いが、一委員がこう思うと提案すれば皆が個人的な考えでの提案になってしまう。地域の方々が農産物を売りたいとか、グループで出店の見込みがあり柿崎に造ってほしいとの声が上がってくれば、我々としても市へ要望していくことができる。

だから、市民からそういう声が上がってきたら協議していけば良いと思う。

#### 【小出会長】

地域協議会は可能・不可能を協議することもあるが、未来に向かってこれからこうなってほしいということを協議する部分もあると思う。

渡邊委員の昨年2月の提案がそのままになっていることに関しては、時間をいただき渡邊委員を交えて金子副会長と私とで話をしたいと思う。

#### 【金子副会長】

私はそういう知見もないし「はい分かりました」とはなかなか言えない。

道の駅は近くの吉川にもある、新井には全国有数の道の駅がある中で、採算性とかの踏み込んだ市場調査など私らにはできないし、専門的な方からの意見がないと、壮大過ぎて私は簡単に返事できない。

### 【新部委員】

渡邊委員の言われるのは、造ってくれではなくこういう事業を進めるには地域協議会としてどういう協議を重ねたら良いのか、その議論をしてほしかったのだと思う。

せっかく出した提案がうやむやで止められてしまい、議論されない内に、採択になるのかもしれないのかも分からないで1年が過ぎてしまう。

渡邊委員の出された意見は、ここで取り組めるのかどうかを議論した中で、これはもう駄目で我々の手には負えないとなるのか、あるいはやり方によっては関係機関を巻き込んで話し合いを行い、次に移っていけるのかなど。

何かを一度やってみて、そこで議論をして答えを出した方が良いと思う。

### 【太田委員】

渡邊委員の言われるのはどういうことなのか良く分からない。例として、板倉区では板倉区を案内するガイドを地域活動支援事業で2名ほど養成し、よそから来られた方にバスに乗ってガイドしてくれる。そんな事が今回の件に相当するの  
か。

そんなことも地域協議会で協議しても良いのではないかと思う。

### 【小出会長】

板倉区の件とはちょっと違うと思う。道の駅という壮大な、ハード面も加わった提案であり、私は新部委員が言われたようにもう少し話をし、整理をして、今後どうしていくかを考えたい。ここで全員で協議する状態ではないので、少し時間がほしいと思うが、よろしいか。

### 【委員】

・「はい、よろしいです」の声

### 【小出会長】

渡邊委員、もう少し整理して今後どういうふうにしていくかを私と話し合いたいと思うが、よろしいか。



【渡邊委員】

はい

【小出会長】

ほかにないか。

【滝澤所長】

板倉区が観光面で考えたときはちょうど新井リゾートが倒産し、光ヶ原の施設をどう有効活用していこうかというところで、地域協議会の中で話し合い、提案としてプランにまとめられたという経緯がある。

自主的審議事項の基本は、やはり地域の課題をどう捉えて、そのためにどう動くかを自主的に審議するものと理解しているので、入口論としては事務局としてこれは駄目とするわけではない。前所長も、道の駅についてその条件を説明したはずである。

よしかわ杜氏の郷にしろ、安塚の道の駅にしろ、全てはそこに道の駅に認められる要件の設備があるので国交省が認めてくれたという流れで、道の駅を最初から造ったわけではない。

【小出会長】

その他ないか。

なければ、事務局から連絡をお願いします。

【唐澤班長】

会議の案内だが、2月25日に地域の交通を考える会とみんなの保育園を考える会をコミプラの3階市民活動室で6時30分から行う。

懇談会の最終打ち合わせということで、合同で会議をすると聞いている。

改めて案内通知は出さないなので、よろしくお願ひしたい。

【小出会長】

では、次回の日程を連絡する。

- ・第12回柿崎区地域協議会

日 時：平成31年3月19日（火）午後6時～

会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

- ・閉会を宣言

（午後6時49分閉会）

## 9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL：025-536-6701（直通）

E-mail：[kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp)

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。